

2019年6月7日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会  
会長 小川郁男 様施設名 介護老人保健施設 すみよし  
氏名 小林 永治

研修会名	2019年度第1回生活リハビリ研修				
日時	2019年05月23日(木)				
会場	埼玉県民活動センター 210セミナー室				
講師	リハビリテーション天草病院 阿部高家氏/プライムケア川越 前園佑貴氏・村野弘美氏				
参加人数	42名				
研修委員 (氏名・施設名)	小林永治(すみよし)/伊藤彰良(いぶき)/佐藤恵子(瑞穂の里)/ 三畑陽代(グリーンピア)/古川知之(なでしこ)/松本宏明(プライムケア川越)				
研修会のテーマ	生活リハビリの導入方法と実践例				
研修会の評価	アンケート回収枚数	42 枚		3. グループワーク	4.2 / 5
	1. 研修内容と目的の一致	4 / 5		4. 研修会の進め方	4 / 5
	2. 講義に対する評価	①	4 / 5	～総合評価点～	21 / 25
		②	4 / 5		
③		/ 5			
④		/ 5			
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修委員としての感想等を記述)				
	【反省点】				
	◆福祉用具(ジャーニー)の紹介に時間をかけ過ぎたため、グループワークの話し合いの時間を十分に取れず、グループごとの発表も割愛することになった。今後は講師と時間設定をさらに細かく打ち合わせていきたい。				
	また、各施設での取り組みをお互いに話す時間を設けられれば、参加者の満足度をより高められたと思われる。				
	◆アンケート記入が終わり次第各自解散という流れであったため、十分に書き込まれていないことがあった。				
	10分程度を記入の時間にあて、一斉解散にすれば、貴重な意見をさらに引き出せたと思われる。				
◆受付前に研修会名の張り紙がなかったため、通り過ぎる参加者がいた。事前に用意すべきであった。					
◆運営の進行に対するアンケートの評価は、たいへんスムーズだった、スムーズだった、が81% (34/参加者42名)であり、時間配分や案内等に改善の余地がある。					
【まとめ】					
◆3人の講師の講義に対するアンケートの評価は、たいへん良く理解できた、理解できた、が90% (114/参加者42名×3講師=126)を占め、大多数に満足して頂ける内容であった。					
◆実技やグループワーク、動画、脳トレ、最新福祉用具の紹介等を取り入れたことで内容が理解しやすく、参加者の集中力を維持することができた。					
◆グループワークで職種による視点の違いを感じたという意見が多く、多職種協働の意義を理解して頂くことができた。					
また、事例として提示する情報を増やしたことで、具体的な意見が増え、活発な話し合いを促すことができた。					
◆配布資料を事前に事務局から受け取り、一人分ずつセットして渡せる状態にしておいたことで、受付作業はとてスムーズであった。					

\*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「研修会アンケートのまとめ」を参照。